

1.3 県立高校統合校務支援への取り組み（和歌山県教育委員会）

和歌山県立学校校務支援システム Wind（Wakayama integrated network database）

【概要】

和歌山県教育委員会では、学校における校務処理の効率化と軽減化を図るとともに、成績や出欠状況、進路希望等を総合的かつ横断的に捉えることにより、生徒の小さな変化を見逃さず、きめ細かな指導を可能とするため、県独自の校務支援システムの開発・導入を計画し、平成21年度から開発を開始しました。

開発したシステムは、全校共通した一つのシステムであるにもかかわらず、全課程、全学科、そして、それぞれの学校の個別の処理方法にもきめ細かく対応させるなど、「共通性」と「個別性」の相反することを一つの共通したシステムで可能としており、現在、全県立高等学校で稼働しています。

【導入の目的】

システムの開発に当たっては、「単に校務を速く処理できる」ではなく、「生徒も教職員も効果的に支援する」ということを重要な視点として、

- ・生徒を「感じられる」、「気付ける」システム
- ・一人の生徒を教職員全員で見守るシステム
- ・各機能の横の連携を強化したシステム

をめざしました。具体的には、

生徒にとっては、

- ・各科目の成績、出欠状況、進路希望等3年間を一貫して捉え分析・共有することで、継続的かつ系統だった、きめ細かい指導を実現すること

教職員にとっては、

- ・校務処理の効率化・軽減化を図ることと、このことにより生徒と向き合う時間を確保すること

その他、データの集計作業の自動化や県教育委員会への各種報告のオンライン化も可能とし、学校における校務処理を軽減するとともに、教育委員会への正確かつスピーディーな報告も可能としました。



特集 4

あなたが住む街の学校教育ICTへの取組



メインメニューと出席簿入力のサンプル

【導入効果】

利用している教職員からは、

- ・ 転勤しても同じUIなので安心して利用できる
- ・ 指導要録の作成が楽になった
- ・ 教育委員会への報告業務が楽になった
- ・ 生徒の出欠状況がリアルタイムに分かるので助かる

などの声を多数いただいています。

【システムの処理分野】

高校入試処理をはじめ、生徒の日常の指導に関わる分野及び、それに留まらず事務や進路、保健なども包括し、さらに、各機能を横断して情報共有可能なシステムになっています。

高校入試	入学願書の登録、検査登録、合否処理、出願者数・合格者数・入学者数等の教育委員会への報告 など
出欠	全校で、科目の毎時限出欠登録を実施
成績	通知表、成績会議資料、調査書等の出力、生徒指導要録の完全電子化 など
事務	各種証明書の出力
進路	進路希望、進路実績の登録、就職内定状況、卒業者の進路等の管理、教育委員会への報告 など
保健	保健室来室記録、健康診断、生活指導登録、健診結果や感染症の教育委員会への報告 など

【生徒指導要録の電子化への取り組み】

「指導要録の電子化に関する参考資料（平成22年9月文科省教育課程課）」をもとに、指導要録の完全電子化を実現しています。

電子化に当たっては、「真実性の保持」、「改ざん防止」、「電子データの漏洩・滅失防止」を実現しています。

【スケジュールと稼働規模】

<稼働スケジュール>

- ・導入開始時期：平成22年1月
- ・全稼働開始時期：平成23年1月

<稼働対象>

- ・和歌山県立高等学校全校で稼働中
- ・管理対象生徒数：約25,000人、利用教職員数：約3,000人

【セキュリティの取り組み】

セキュリティは以下の手段をとっています。

- ・ICカードによる認証、ログイン（本人確認）
- ・データダウンロードの制限（権限設定により管理者にのみ許可）
- ・PDFファイルの暗号化（ネットワーク外では参照不可の仕組み）
- ・センターサーバ方式（学校が災害にあったときにもデータは失われない）

(和歌山県の事例に関するお問い合わせ先)

和歌山県教育庁 教育総務局 総務課教育政策班